



2024年1月4日

各 位

会社名 日本航空株式会社  
代表者 代表取締役社長執行役員 赤坂 祐二  
(コード: 9201 東証プライム)  
問合せ先 財務部長 西澤 修英  
(TEL 03-5460-3121 (代表))

## 航空機の全損に伴う損害の発生について

2024年1月2日に発生した日本航空516便と海上保安庁機の衝突事故に関し、以下のとおり、当社航空機の全損に伴う営業損失が発生する見込みですので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 損害の概要

2024年1月2日の日本航空516便と海上保安庁機の衝突事故の発生に伴い、以下の資産が全損いたしました。当該資産に対する損害の見込額の合計は、約150億円となり、営業損失として計上する予定です。

なお、当該航空機については、航空保険が適用されるものと見込んでおります。

また、当該衝突事故の詳細については、添付資料をご参照ください。

資産の名称	資産の内容	損害の見込額 (億円)
エアバス A350-900 型機 (登録記号 JA13XJ)	航空機	約 150

#### 2. 今後の見通し

今回の営業損失の発生に伴う2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)の通期連結業績予想への影響は現在精査中であり、今後開示すべき事実が生じた場合には、速やかに公表いたします。

(参考) 当期連結業績予想(2023年10月31日公表分)及び前期連結実績

	売上収益	財務・法人所得税前利益 (EBIT)	親会社の所有者に 帰属する当期利益
当期業績予想 (2024年3月期)	1,684,000	130,000	80,000
前期実績 (2023年3月期)	1,375,589	64,563	34,423

(単位: 百万円)

以上

## 日本航空 516 便と海上保安庁機の衝突事故について

2024年1月2日、JL516便(新千歳空港発/羽田空港着)が羽田空港に着陸後、海上保安庁の航空機と衝突し、機体が炎上しました。お亡くなりになられた海上保安庁の関係者の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。当社便にご搭乗されていたお客さま、乗員は全員脱出したことを確認しております。

お客さまやご家族の皆さま、関係の皆さまには大変なご心配、ご迷惑をおかけしていますことを深くお詫び申し上げます。

当社は、本事案の調査に全面的に協力してまいります。

### 記

発生日時: 2024年1月2日(火) 17時47分頃  
発生場所: 東京・羽田空港 C 滑走路  
便名: JL516 便  
新千歳空港発 羽田空港着  
15時50分(出発予定時刻) 17時35分(到着予定時刻)  
16時15分(実際の出発時刻) 17時47分(実際の着陸時刻)

搭乗者数: 乗客数 359名 + 幼児 8名 計 367名  
乗務員数 運航乗務員 3名 客室乗務員 9名 計 12名

お客さまの状況: 打撲 1名、体調不良によるクリニック受診 13名

型式および登録記号: エアバス A350-900 型機 機番 JA13XJ

機体の状況: 全損

### 【概要】

- 当該機は、1月2日 16時15分に新千歳空港を出発し順調に飛行した(※1)後、羽田空港 C 滑走路に 17時47分に着陸(※2)した直後、海上保安庁の航空機と衝突し、機体が炎上した。
- 当社便にご搭乗されていたお客さま、乗員の全員が緊急脱出(※3)を実施した。
- 当該機にご搭乗されていたお客さまについて一人ひとりと怪我の有無や帰宅までのサポートを実施している。

(※1)新千歳空港出発時および航行中において機体に異常は無かった。

(※2)当社運航乗務員への聞き取りによれば、管制からの着陸許可を認識し、復唱した後、進入・着陸操作を実施した。

(※3)脱出時に機内のアナウンスシステムが不動作となったため、客室乗務員がメガホンと肉声でご案内を実施した。安全に脱出できる出口を客室乗務員が判断し、3箇所非常脱出口から乗客乗員全員が脱出した。

現在詳細な状況や事故原因については調査中であり、当社としても調査に全面的に協力してまいります。

以上